

大館市教育委員会会議録

日 時 令和7年8月22日（金）
午後3時30分
場 所 長木公民館
第1・第2研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時	日 時	令和7年8月22日（金）		午後3時30分
	及び場所	場 所	長木公民館		第1・第2研修室
2 出席委員の氏名					
教育長職務代理人		山 田 和 人		委 員	工 藤 啓 子
委 員		真 田 かずみ			
3 欠席委員の氏名					
4 委員以外の出席者職氏名		(なし)			
5 出席した職員の職氏名					
教 育 長		長 岐 公 二		学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
教 育 次 長		若 松 健 寿		学校教育課長補佐	柴 田 賢
教 育 監		野 呂 謙 一		生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教育総務課長		北 林 香 子		中央公民館長	外 館 志
学校教育課長		鈴 木 明		歴史文化課長補佐	鳥 潟 幸 男
教育研究所長		米 澤 貴 子		教育総務課総務係長	三 浦 伸 介
生涯学習課長		畠 山 慶 子			
歴史文化課長		関 智 仁			
教育総務課長補佐		宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・工藤委員					
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 三浦 伸介					
8 教育長報告					
(1)		教育ツーリズムについて			
(2)		常陸大宮市との教育交流について			
(3)		A L Tの新規任用について			
(4)		令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について			
(5)		令和7年度大館市20歳を祝う会について			
(6)		「高橋禎三文庫」について			
(7)		ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について			
(8)		夏休みわんぱくスクール「新しいお札の秘密を探ろう」の開催について			
(9)		こども科学教室の夏休み特別企画について			
9 議 事					
協議第12号		令和7年度大館市一般会計補正予算（第3号）の専決処分について			
協議第13号		令和7年度大館市一般会計補正予算（第4号）案			
10 その他					
(口頭) 類目別蔵書冊数（年度累計）について					
次回 9月24日（水） 長木公民館 第1・第2研修室					

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容																														
教育ツーリズムについて	I 1 学期の受け入れ校における管理職（校長）の認識を把握すべくアンケートを実施した。対象とした学校は、実践型の世田谷区教育委員会を受け入れた 7 校（校長 7 名、教員 9 名）で実施した。 1 校長アンケート（7 名） ※別紙資料参照（教育ツーリズム） (1) 学校経営の視点から <table><tr><th>回答</th><th>人数</th><th>%</th></tr><tr><td>とても有効</td><td>6</td><td>8 6</td></tr><tr><td>有効</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>普通</td><td>1</td><td>1 4</td></tr><tr><td>物足りない</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> ①経営説明を通して、学校経営を客観視できた ②自校の教職員の研究推進・授業改善への意識を高められた ③予算的なサポートがほしい（資料印刷インク代等） ④市のコンセプトである「大館盆地を学び舎に、市民一人一人を先生に」を、各校の取組を通して伝えることができた (2) 中核教員育成につなげる構想 ①教職員の研修の在り方や、自校の体制について考える機会となった ②改めて、学校教育目標と教育活動の整合性を見つめ直した ③校長としての視察受け入れを通して、育てたいターゲットとなる教職員を決めておくことが効果的 2 教員アンケート（9 名） ※別紙資料参照（教育ツーリズム） <table><tr><th>回答</th><th>人数</th><th>%</th></tr><tr><td>とてもよかった</td><td>5</td><td>5 6</td></tr><tr><td>よかった</td><td>3</td><td>3 3</td></tr><tr><td>普通</td><td>1</td><td>1 1</td></tr><tr><td>物足りない</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> II 2 学期の視察予定 ※別紙資料参照（2 学期視察予定）	回答	人数	%	とても有効	6	8 6	有効	0	0	普通	1	1 4	物足りない	0	0	回答	人数	%	とてもよかった	5	5 6	よかった	3	3 3	普通	1	1 1	物足りない	0	0
回答	人数	%																													
とても有効	6	8 6																													
有効	0	0																													
普通	1	1 4																													
物足りない	0	0																													
回答	人数	%																													
とてもよかった	5	5 6																													
よかった	3	3 3																													
普通	1	1 1																													
物足りない	0	0																													

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
常陸大宮市との教育交流について	7月28日から30日までの日程で、城南小学校の6年生10名と教職員など引率者3名が、友好都市協定を締結している常陸大宮市を訪問し、大宮小学校の児童と交流しました。 2年ぶりの訪問となった今回は、伝統産業である西ノ内和紙のすき絵や、カヌー体験を行いました。江戸時代からつながる両市の歴史や地域の魅力、それぞれの学校について、事前にプレゼン資料を準備してから訪問したことで、お互いの地域についてより一層理解を深めることができました。 今後も相互間交流を継続し、子どもたちの視野を広げ、未来を担う人材育成に取り組んでまいります。 <城南小学校6年生10名と大宮小学校5年生11名>  歓迎式  カヌー体験  すき絵体験

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（学校教育課）

報 告 事 項	報 告 内 容
A L Tの新規任用について	大館市へ新たに任用となる2名のA L Tが決まりましたので、報告します。 ・任 期 令和7年7月28日～令和8年7月27日 ・担当校 第一中学校、東中学校 各1名

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課(教育研究所)

報 告 事 項	報 告 内 容																																			
令和7年度全国学力・ 学習状況調査の結果に ついて	1. 開催期日																																			
	(1) 4月17日(木)																																			
	・小学校 国語・算数・理科(各45分)																																			
	・中学校 国語・数学(各50分)																																			
	(2) 4月14日(月)～17日(木)																																			
	・中学校 理科(50分)、生徒質問調査(25分)																																			
	文部科学省CBTシステム(MEXCBT)を活用して実 施。タブレットを使って回答。																																			
	(3) 4月18日(金)～25日(金)																																			
	・小学校 児童質問紙(20分)																																			
	児童質問調査オンライン実施システムを活用して実施。タ ブレットを使って回答。																																			
※(2)及び(3)は各校の希望に合わせ分散して実施																																				
2. 調査結果(教科) ※別紙参照																																				
	<table><tr><td></td><td colspan="3">小学校6年</td><td colspan="3">中学校3年</td></tr><tr><td></td><td>国語</td><td>算数</td><td>理科</td><td>国語</td><td>数学</td><td>理科</td></tr><tr><td>市</td><td>71.0</td><td>59.0</td><td>62.0</td><td>57.0</td><td>51.0</td><td>528</td></tr><tr><td>県</td><td>71.0</td><td>60.0</td><td>61.0</td><td>57.0</td><td>49.0</td><td>516</td></tr><tr><td>国</td><td>66.8</td><td>58.0</td><td>57.1</td><td>54.3</td><td>48.3</td><td>503</td></tr></table>		小学校6年			中学校3年				国語	算数	理科	国語	数学	理科	市	71.0	59.0	62.0	57.0	51.0	528	県	71.0	60.0	61.0	57.0	49.0	516	国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503
	小学校6年			中学校3年																																
	国語	算数	理科	国語	数学	理科																														
市	71.0	59.0	62.0	57.0	51.0	528																														
県	71.0	60.0	61.0	57.0	49.0	516																														
国	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503																														
	中学校理科は、各問題の難易度等から学力を推定し、500点を基準とする「項目反応理論(I R T)スコア」で示している。																																			
	・県、国を上回った教科 … 小学校理科、中学校数学・理科																																			
	・県と同点の教科 … 小学校国語、中学校国語																																			
	・県より1ポイント下 … 小学校算数																																			
	※全ての教科で国を上回り、おおむね良好な状況である。																																			
3. 調査結果(児童生徒質問調査) ※別紙参照																																				
	・質問数 小学校71、中学校70																																			
	大館ふるさとキャリア教育、第1次学力向上に関する提言に 関わる14～15項目に注目すると、12～13項目が国を上 回り、県を上回る項目も多い。自己有用感、共感力、協働力、課 題対応力・社会的使命感、社会貢献力・社会変革力について9 0%前後の児童生徒が肯定的な回答をしている。「自分の考えを 相手に伝わるように工夫する」は、小・中ともに課題が残る。																																			

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容																								
令和7年度大館市20歳を祝う会について	8月15日、ほくしか鹿鳴ホールにおいて、20歳を祝う会が盛大に行われました。																								
	1. 対象者（平成16年度生まれ）542人 出席者 388人（出席率71.6%、 オンライン参加4人を含む）																								
	※過去5年間の対象者・出席者数の推移																								
	<table><tr><th>年度</th><th>対象者</th><th>出席者（出席率）</th><th>備考</th></tr><tr><td>R2</td><td>671人</td><td>15人（2.2%）</td><td>無観客</td></tr><tr><td>R3</td><td>634人</td><td>7人（1.1%）</td><td>無観客</td></tr><tr><td>R4</td><td>627人</td><td>348人（55.5%）</td><td></td></tr><tr><td>R5#</td><td>596人</td><td>408人（68.5%）</td><td></td></tr><tr><td>R6#</td><td>563人</td><td>434人（77.1%）</td><td></td></tr></table>	年度	対象者	出席者（出席率）	備考	R2	671人	15人（2.2%）	無観客	R3	634人	7人（1.1%）	無観客	R4	627人	348人（55.5%）		R5#	596人	408人（68.5%）		R6#	563人	434人（77.1%）	
	年度	対象者	出席者（出席率）	備考																					
	R2	671人	15人（2.2%）	無観客																					
	R3	634人	7人（1.1%）	無観客																					
	R4	627人	348人（55.5%）																						
	R5#	596人	408人（68.5%）																						
	R6#	563人	434人（77.1%）																						
2. 出席者代表から																									
「これまで自然災害、新型コロナウイルスの流行による学校行事などが制限されたこと、さらには成人年齢の引き下げなどの社会の変化の中で支えてくれた家族、先生方、地域の皆様への感謝の気持ちを伝え、支える側の人間になれるよう精進していきたい。」と大変頼もしい決意の言葉を述べられました。																									
3. 企業・団体からの協賛																									
全市を挙げて祝うイベントとして位置付け、市内企業・団体40社より、パンフレットへの応援メッセージ掲載などへの協賛をいただきました。																									
<table><tr><th>年度</th><th>協賛企業数</th><th>協賛金合計</th></tr><tr><td>R6</td><td>39社</td><td>609,000円</td></tr><tr><td>R7</td><td>40社</td><td>568,000円</td></tr></table>	年度	協賛企業数	協賛金合計	R6	39社	609,000円	R7	40社	568,000円																
年度	協賛企業数	協賛金合計																							
R6	39社	609,000円																							
R7	40社	568,000円																							
4. 式典後のイベント（実行委員会主催）																									
実行委員会主催の抽選会が行われ、恩師との楽しい時間を共有しながら、当選者には大館の地酒や伝統工芸品などの景品が贈られ、会場が笑顔にあふれていました。																									

教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容
「高橋禎三文庫」について	この度、高橋^{ゆきぶみ}行文氏より、栗盛記念図書館の蔵書等を充実させてほしいという願いから50万円の寄附をいただき（7月7日納入）、その寄附金を活用して、栗盛記念図書館にある「高橋禎三文庫」に新たに160冊の児童書が加わりました。 高橋禎三文庫は1階の児童向けコーナーの一角にあり、行文氏の父・禎三氏が亡くなった令和3年に、栗盛記念図書館へ100万円の寄附をいただいて開設されたものです。 当初は435冊だった児童書の棚を広げて、恐竜や星、鉄道などをテーマにした図鑑や、動物や昆虫の写真絵本、日本文化を紹介する図書が加わり、ふだん購入できないセット本などをそろえることができました。 7月19日の図書館まつりや、夏休みに間に合うように陳列することができたので、子どもたちの自由研究などに役立ってほしいと期待しています。 「高橋禎三文庫」の写真（左側が160冊追加された棚）

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について	7月27日（日）に、田代体育館（グリアス田代）においてラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操 ワンツー・ワンツー！」を開催しました。 令和5年度に、大館市は簡易保険加入者協会より「健康タウン構想の推進」支援自治体に指定され、以降5年間、市民の健康づくりに関する支援を受けることとなっております。本事業はその一環として実施しているもので、今回で3回目の開催となりました。 当日は園児から高齢者まで幅広い年代から110人が参加し、講師2名の指導の下、「みんなの体操」「ラジオ体操第1」「ラジオ体操第2」を実践しました。動作の細部を意識しながら行うことは難しく、ペアで確認し合いながら取り組む場面も見られました。体操終了後には入念にストレッチを行い、けが防止を徹底しました。 また、会場後方にはニュースポーツ（ボッチャ、スカットボール）の体験コーナーを設けて、休憩時間や式典前後の空き時間に参加者が楽しめるよう工夫しました。 本事業は健康ポイント対象事業にも認定され、参加者の健康意識の向上や世代間交流の促進につながる有意義なイベントとなりました。



ラジオ体操第1指導中の講師



ストレッチで疲労を回復する様子



ラジオ体操第2 実践

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容
夏休みわんぱくスクール 「新しいお札の秘密を探ろう」の開催について	8月7日（木）、中央公民館において「夏休みわんぱくスクール」を開催し、小学3年生から6年生までの児童6名と、新任者研修中の教員3名の計9名が参加しました。テーマは「新しいお札の秘密を探ろう」で、日本銀行秋田支店から講師を招いて学習を行いました。 参加者は、1億円の模擬紙幣の重さ体験や、偽造防止技術の確認、ちぎれた紙幣の引換額の判断方法などについて学びました。また、講座担当者が提供した旧紙幣の観察も行いました。 全員が初めての体験であり、受講者からは、「1億円はとても重かった」、「紙幣引換の際は、残った面積だけでなく記番号なども確認する必要がある」、「過去にこのような紙幣があったとは知らなかった。100円や500円が紙幣だったとは驚いた」といった感想が寄せられました。 今回の講座は、お金を取り扱う際の厳しさや貨幣の歴史を学ぶ貴重な機会となりました。 なお、当日はNHK秋田支局による取材があり、同日夜方の「ニュースこまち」において本講座の様子が放映されました。

1億円を持ち上げる6年生



旧紙幣の観察



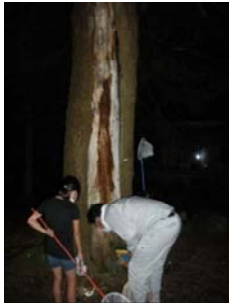
引換額を考える受講生



教育長が教育委員会に報告する事項

令和7年8月22日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
こども科学教室の夏休み特別企画について  実験の様子  幼虫の探索 (令和2年度)  アメリカザリガニ釣り	郷土博物館では、子どもたちの知的探求心を刺激し、科学的思考を育むことを目的として、毎年「こども科学教室（わくわくサイエンス）」を開催しています。 令和7年度は夏休み特別企画として、7月及び8月に3回の講座を企画・実施しました。 【第1回講座 科学の世界へようこそ！～不思議な水・色・スライム～】 大館鳳鳴高等学校化学部を講師に迎え、カラフルで楽しい実験（つかめる水、鉄粉の入ったスライムなど）を行いました。 1. と き 7月29日（火） 午前10時00分～11時30分 2. と ころ 大館郷土博物館 3. 参加人数 7名 【第2回講座 生き物の不思議・セミの羽化】 懐中電灯を片手に鳥潟会館庭園でセミの幼虫を探し、自宅で羽化の様子を観察する講座を企画しましたが、残念ながら申込み者がなく、中止となりました。 1. と き 8月1日（金） 午後7時00分～7時50分 2. と ころ 鳥潟会館庭園 【第3回講座 アメリカザリガニを釣ろう！】 芝谷地湿原でアメリカザリガニ釣りを行い、大館鳳鳴高等学校生物部の講師がザリガニの生態について解説しました。100匹以上釣れることもある人気の講座です。 1. と き 8月9日（土） 午前10時00分～11時30分 2. と ころ 芝谷地湿原 3. 参加人数 12名 今後も、大館の宝である国指定名勝や国指定天然記念物を活用し、子どもたちが科学に親しみ、学びを深められるような講座を企画・実施してまいります。

議 事 の 経 過	
	開会 午後３時３０分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と工藤委員にお願いします。 会議録についていかがだったでしょうか。 （「異議なし」の声あり） それでは承認とさせていただきます。 では、４の教育長の報告事項（１）から（４）までをお願いします。
教育監及び各課長	「（１）教育ツーリズムについて」 「（２）常陸大宮市との教育交流について」 「（３）ＡＬＴの新規任用について」 「（４）令和７年度全国学力・学習状況調査の結果について」 を、資料により報告）
教育長	ここまでにについてご意見、ご質問等はございますか。
委員	全国学力・学習状況調査のご説明の中にありました、中学校３年の生徒質問紙についてですが、私が子どもサミットを見た限りでは非常に発表力があるように思えただけに、かなり控えめな結果だと感じました。やはり能力がある分、自己評価も厳しめなのかなという感想を持ちました。
委員	教育ツーリズムのアンケートについて、迅速なご対応ありがとうございます。他県から多くの視察を受け入れて、学校には少なからず負担がある中でアンケートにお答えいただき大変感謝しております。感想にも目を通していただきましたが、各校とも教育ツーリズムの意義を理解し、学校経営に生かしてくださっていました。 また、特に知りたかった教員の方々の感想ですが、資質向上の機会と捉えて、前向きに取り組んでいることがよく分かりました。大変だけれどもやってよかったということが大切で、中核的教員の方々が、単に授業力向上だけでなく、学校経営への参画意識のような部分も培われてきているのではないかと感じ、本当に嬉しく思いました。 要望や意見等もあるようですので、その辺りも検討していただいて、来る方も受け入れる方も、どちらにもよい形で進められるようにお願いします。 また、アテンダントの方は大変ご難儀されていると思いますので、ご尽力感謝しますとお伝えください。
教育長	視察を受け入れるにあたり、来た人たちがただ授業を見てそのまま帰るよりも、興味やお互いの教育観念等を交流させることによって、意義を感じや

委員	すくなるというのはあると思います。授業をせっかく見せても、見て帰るだけというのでは感情的にも上向きにはならないですから、意識的に話し、せめて協議できるような関係を築きたいというのが市町村教育委員会としての思いと意見です。 感想の中で、大館は見られる機会が多いが、外に行く機会は意外と少ないというのがありました。本当であれば大館も視察に出られればいいのでしょうか。けれども、予算の関係もあり難しいと思います。しかし、受け入れの中で交流をすることで、大館にいながらにして外の刺激に触れることができますから、こういった機会は大切だと思います。
委員	教育ツーリズムについてですが、感想の中で目的がはっきりすると準備が行いやすいとか、なぜ大館と実践協議をしたいのかなど、直接的な要望や希望が出てきたのはよい機会だったのではないのでしょうか。このような機会を捉えて、改善を要する点は改善し、より実りのあるものにしていければいいと思いました。 また、現場の先生方にはアンケートでご負担をかけたかもしれませんが、9割方の先生が好意的に考えてくれており、先ほどお話がありましたとおり、外の刺激に触れるという意味でも非常にいい機会ですので、前向きに考えて、今後も継続していただきたいと思います。 アンケートの中で面白い感想があったのですが、南中学校へ視察に来た先生が、初めて来た学校で初対面の生徒に授業を行おうとする意欲あふれる姿を教訓にという言葉がありました。子どもと一緒に学ぶということは、どこでもできるということ、そしてそこに入り込む気概や勇気をこの文章から感じられて、これが教師の醍醐味なのだろうなと思いました。こういった意気込みを大館の先生たちは持っていますので、大事にしてほしいと思います。 それからもうひとつ、全国学力・学習状況調査のことでお聞きしたいことがあります。学力は皆さんが非常に頑張った結果だと思うのですが、小学校6年の児童質問紙で、社会貢献力・社会変革力という項目において国の平均が81.3ポイントだったのに対し、市が92.3ポイントと10ポイント以上高く、中学校3年では15ポイント以上高い結果となっています。これは非常に素晴らしいことだと私は思います。 そこで、これほど高い結果となった要因について、現時点で何か心当たりがありましたらお聞かせください。難しいようでしたら今後分析が進んでからで結構です。
教育研究所長	社会貢献力の部分について、本日皆さんにお渡しした「みんなのまなびしんぶん」にも掲載しておりますが、各校の様々な百花繚乱作戦により、地域の方々と関わる活動を非常に多く行っています。実践を通して、助けられる側から助ける側に子どもたちの意識が変わってきていて、その高い意識が継続されているのではないかと感じています。

委員	分かりました。学習は目標ではなく、ひとつの手段なのだと私は常々思っているのですが、それが数字として表れた結果であり、子どもたち自身も分かり始めているのかもしれませんが。是非このような大館の教育活動を末永く続けていただきたいと思います。
教育長	あくまで個人的な仮説になりますが、やはり地域と子どもたちの接点の数だろうというのは私も思っています。例えば東京都の渋谷区や世田谷区の子どもたちが、大館市と同じくらいの数の接点を持っているかということ、そうではないと思います。それを全国で平均化したときに、このくらい差が出るということなのかもしれません。
委員	やはりそういう子どもたちが大館市にたくさん残ってくれて、この地域を引っ張ってくれることを望みます。
委員	私からも全国学力・学習状況調査の結果について、おおむね全体的に良好な状況ということで、特に今お話しもありましたふるさとキャリア教育に関わる部分については、これまで同様各学校の取り組みや成果が大いに表れていると思います。 そこでひとつ気になったのですが、質問紙の幸福度の項目に、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」という質問がありますが、回答の選択肢がどのような内容だったのか、教えていただけますか。
教育研究所長	今は手元に資料がございませんので、次回の教育委員会会議までに用意してまいります。
委員	改めて注目してみると、これは本当に抽象的な質問です。何を幸せと考えるかというのは人それぞれですから、大人でも難しい質問だと思います。それでも9割以上の子どもたちが、自分なりに幸せだと感じているとすれば、それは良いことだと思うのですが、裏を返せば1割弱の子どもたちが否定的な回答だったということです。ですから、このデータを生かして、そうでない子どもたちにも寄り添ってもらいたいと思います。 それからもうひとつ、「自分の考えを相手に伝えるように工夫する」という項目について、教育研究所長も課題として挙げられていましたが、もしかしたらこれが今一番深い学びのところで、社会で生かせる力として求められているのではないかと考えています。数値的には5割程度の結果ですが、この辺についても、今後力を入れていかなければいけないと思いました。
教育研究所長	I C Tやタブレットも新しくなりますので、子どもたちがより説得力のある発信をできるよう活用していきたいと思います。
委員	数値の厳選については様々な考え方がありますので、検討会でも協議していただければと思います

教育長	ご指摘がありました「自分の考えを相手に伝えるように工夫する」という設問の数値については、やはり注視していかなければならないと私も思っています。先ほどもお話しがありましたが、子どもサミットであれだけの議論ができていたということは、裏を返せば、授業の中ではリーダーの子どもだけがそうであるという発想もできなくはないので、実態を的確に把握していく必要性も今回の結果から感じるべきだと思います。 では、続いて報告事項（５）から（９）までを説明願います。
各課長	「（５）令和７年度大館市２０歳を祝う会について」 「（６）「高橋禎三文庫」について」 「（７）ラジオ体操会「みんな元気にラジオ体操ワンツー・ワンツー！」について」 「（８）夏休みわんぱくスクール「新しいお札の秘密を探ろう」の開催について」 「（９）こども科学教室の夏休み特別企画について」 を、資料により報告）
教育長	ご意見、ご質問等はございませんか。
委員	「新しいお札の秘密を探ろう」についてですが、これは毎年実施しているのでしょうか。
中央公民館長	昨年も行いまして、今回が２回目です。
委員	子どもの頃からお金の大切さを学ぶことや、体験したことのないものに触ってみるというのは非常に良いことだと思います。そこで内容について少しお伺いします。１億円の重さを体験したというお話しがありましたが、その他にもお金を貯めるとか、お金を使うとか、クレジットカードを使うとどうなるのか、投資というのはどのような形で行うのかなど、そういった内容もあったのでしょうか。
中央公民館長	小学校低学年からを対象としている事業ですので、重さや昔の紙幣などに重点を置いており、委員がおっしゃったような内容は含まれておりません。 ただ、そちらの方は、学び大学で講座を設けております。
委員	それは小中学生も対象としている講座ですか。
中央公民館長	保護者の方と一緒に参加していただければ、年齢制限はありません。
委員	何を言いたいかというと、子どもの頃からそういった教育も必要なのではないかと最近思っているのです。

	個人的な意見になりますが、昔と違い貯蓄さえすれば何とかなるという時代ではなくなってきました。また、成人年齢が18歳に引き下げられてからは、クレジットカードの作成やローン契約に保護者の許可が必要なくなったので、様々な誘惑や危険が付きまといます。ですから、子どもの頃からこのような教育の機会を多く設けた方がよいと感じておりますので、今後の講座の参考にしていただければと思います。
中央公民館長	承りました。
委員	歴史文化課の「アメリカザリガニを釣ろう！」についての感想ですが、芝谷地湿原でアメリカザリガニが100匹以上釣れるということを初めて知りました。 実はこの間、新屋高校理科研究部の皆さんにお話を聞く機会がありまして、アメリカザリガニは生態系を乱す特定外来生物に指定されていますが、冷凍・粉碎したものを野菜栽培の肥料として活用したり、脱プラスチックを目指す取り組みとして、釣具の疑似餌（ワーム）に加工して販売するプロジェクトを立ち上げているということでした。 今回はアメリカザリガニを釣って、そして生態を知るところに焦点を当てたイベントだと思うのですが、今後大館市の環境保護につながるようなイベントになれば、また違った形でいいのではないのでしょうか。
歴史文化課長	委員ご指摘のとおり、アメリカザリガニは全国各地に分布を広げています。このイベントも駆除を兼ねるとまでは行きませんが、そういった意味合いも多少はございます。もちろん、釣った後に持ち帰って放すことは禁止されていますので、飼育しない場合は持ち帰らないようお願いしています。 新屋高校のように何かに活用するというのもひとつの手段だと思いますが、こちらは小学生向けの講座ですので、そこまでの内容にするのは少々難しいところでございます。 今後そういった特定外来生物の駆除や活用について、何か企画できないか検討してまいりたいと思います。
教育長	興味本位で聞きますが、食材としての価値はないのですか。
歴史文化課長	泥底に生息していますので、食用にする場合は根気よく泥抜きをする必要があります、可食部は非常に少ないです。おいしいらしいのですが、私も食べたことはありません。
委員	新屋高校の生徒さんもそうおっしゃっていました。 また、参考までにお話しますと、確か小松菜だったと思いますが、野菜の肥料にした場合は一般的な肥料よりもよく育つという結果が出ているということでした。

委員	20歳を祝う会では、会場の運営等本当にお疲れさまでした。出席者代表の挨拶を聞いて、今回20歳になった子どもたちは、10代の最後の数年にコロナ禍を迎え、ただでさえ様々なことで悩む時期に制約もあり、自分ではどうにもならないことの中で過ごしてきたのだと思います。挨拶の中で、それでもその経験を糧にしてという話をされていて、内に秘めた力強さを感じて嬉しくなりました。 年々対象者が少なくなっていくわけですが、これからの未来を担う人材として、豊かな経験を積んでほしいと心から願った次第です。
委員	20歳を祝う会に協賛させていただいた一企業としてお礼申し上げます。広告の対応が丁寧で、構成から見ていただいて非常に良かったと思いますので、戻られましたら感謝していると担当の方にお伝えください。
生涯学習課長	伝えておきます。ありがとうございます。
教育長	ほかにございますか。 ないようですので、議事に移ります。協議第12号及び第13号について説明をお願いします。
各課長	（「協議第12号 令和7年度大館市一般会計補正予算（第3号）の専決処分について」 「協議第13号 令和7年度大館市一般会計補正予算（第4号）案」を、資料により説明）
教育長	ご質問等はございませんか。 ないようですので、その他に移ります。 生涯学習課長からお願いします。
生涯学習課長	（「類目別蔵書冊数（年度累計）について」を、口頭で報告）
教育長	ご質問等はございませんか。
委員	田代図書館の文学書についてですが、経年劣化等で傷んでいた本を整理した結果、489冊減少したという理解でよいでしょうか。
生涯学習課長	はい。50年くらい前のものもあり、劣化が著しく、内容的にも同じ図書の新版で対応が可能であることから、整理したということでした。
委員	全体的に田代図書館以外は冊数が増えているようですので、少し安堵しました。なぜかという、今年の5月に京都大学である論文が出たのです。 それによると、これまでの研究で個人の読書習慣が死亡率や認知症リスクの低下と関連することが分かっていたましたが、読書の機会を提供し、住民が

	集う場所としての図書館と健康の関係性は明らかにされていなかったそうです。そこで、73, 138人の高齢者を約7年間追跡して、各自治体の図書館の蔵書数と要介護リスクの関連を調べたというのです。 その結果、図書館の蔵書が人口当たり1冊増えると、その地域の高齢者の要介護リスクが4%減少することに相当する相関関係が確認されたそうです。ただ、大館の場合は人口が年々減っていますので、比例して1人当たりの冊数が増えて、要介護リスクは減っていくことになるはずという気がしなくもないです。 しかしながら、実際に京都大学の研究でこのようなデータが出ていることから、あながち図書館の数や蔵書冊数をないがしろにはできないと思いますので、学校の方でも蔵書冊数や整理の仕方などについて、今後しっかりと検討していく必要があると考え、今回お話しさせていただきました。 資料作成についてはご難儀おかけしました。ただ、これは今年で終わりではなく、毎年データとして報告していただければ大変助かります。
生涯学習課長	もう1件、前回ご指摘のありました文化会館の減免の件について、口頭で報告します。 基本的に文化会館は児童生徒だけではなく、様々な年齢層の方が利用されています。無料になれば皆さんにとっては良いことなのだと思いますが、そうすると文化会館が指定管理施設として成り立たなくなってしまう。 20歳を祝う会の際も使用料を支払っておりますので、基本的に減免は無いという考え方をお願いしたいと文化会館からもお話がありましたので、報告させていただきます。
教育長	そのほかには何かございますか。
中央公民館長	皆さんにお配りした封筒にチケットが2枚入っていますが、老人クラブ連合会に中央公民館が協賛する形で、9月17日にコンサートが開催されます。 出演する方々も、観客が多い方がモチベーションも上がると思いますので、できましたら時間を作っていただいて、ご利用くださいますようお願いいたします。
教育長	委員の皆さんからは何かございますか。
委員	前回から資料が見やすくなったと思います。もう少し言わせてもらおうと、報告事項や議案等の番号を、資料の方にも入れていただけると非常に助かりますので、よろしくお願いします
教育長	予定されていた議題については以上で終了いたします。 では、次回の開催日程についてお願いします。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)

教育長	それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後４時３０分